

問合せから設置までのフロー



納入事例

レンタル期間

2022年4月～6月で運用

現場名

国内土砂処理現場

現場に応じた最適な設備を提案。

課題

混合廃棄物（可燃物・不燃物・碎石・木材）の分別を人力で行っているため、少量の処理しかできず時間がかかっている。
もっと効率よく連続で処理できないか。

実現したこと

人力を機械化することで連続処理を実現、一貫した混合廃棄物の分別処理を効率よく行えるようになった。重機の使用が減ることでCO₂削減、作業員・工数も大幅削減することができた。



技術開発の拠点「つくばテクノセンター」

茨城県に広大な土地を持つ自社工場。

新機種の研究開発、組立試験や製品のメンテナンス、フィールドサービスや物流などを担う流機エンジニアリングの技術拠点です。



本社 / 〒108-0073 東京都港区三田 3-4-2

TEL : 03-3452-7400 FAX : 03-3452-5370

つくばテクノセンター / 〒308-0114 茨城県筑西市花田 90-1

URL : <https://www.ryuki.com>

E-Mail : hp_info@ryuki.com

お問い合わせは

災害物混合土砂分別システム

DIMS

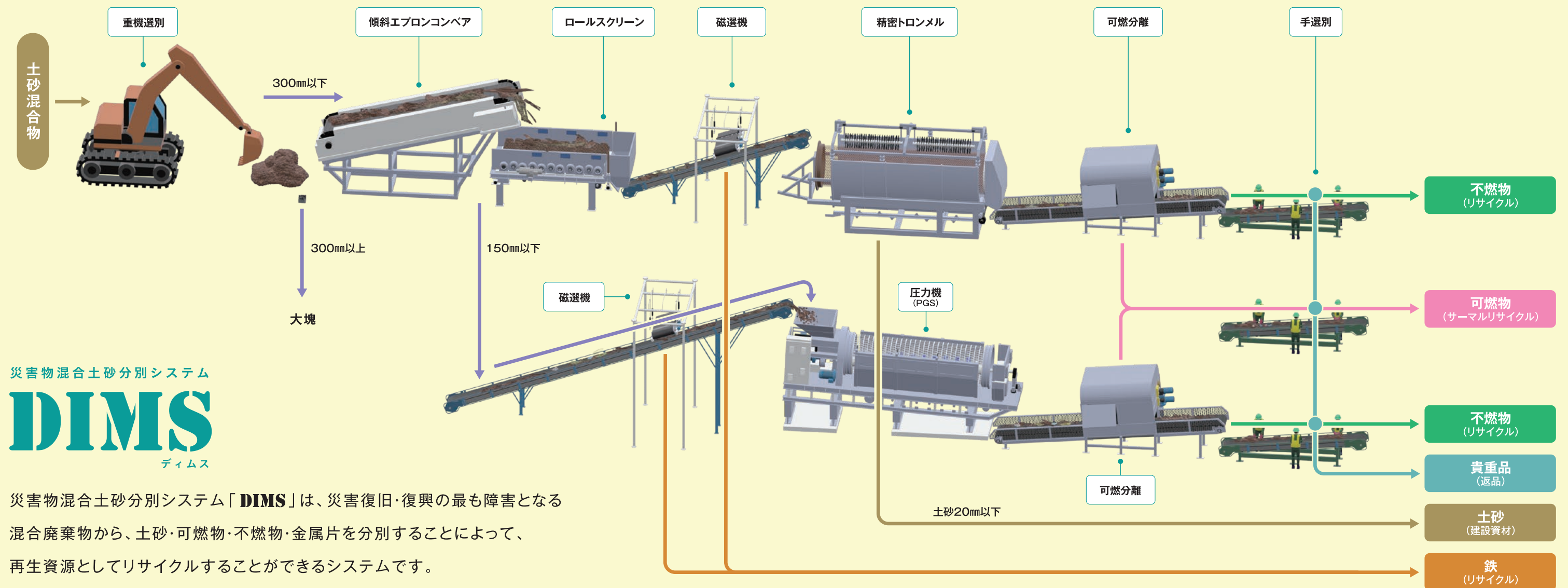
ディムス

Disaster
Material
Separation system

混合廃棄物の迅速な処理実現を目指し、
より早い被災地の復旧、復興を
サポートします。



災害復旧に向けたシステム構築の提案から実行までトータルにサポート。



災害物混合土砂分別システム

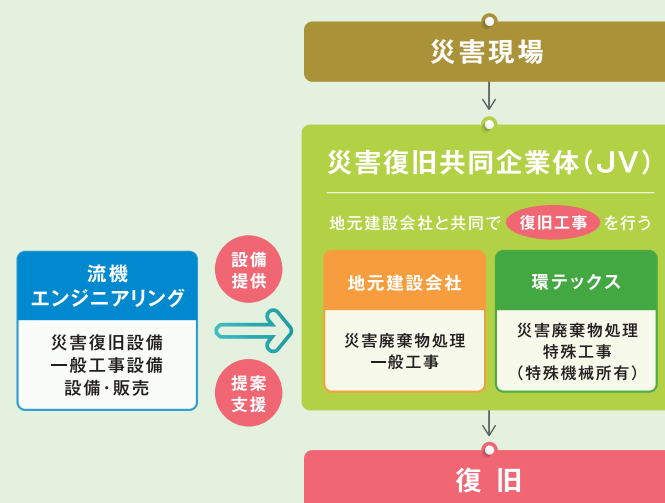
DIMS
ディムス

災害物混合土砂分別システム「**DIMS**」は、災害復旧・復興の最も障害となる混合廃棄物から、土砂・可燃物・不燃物・金属片を分別することによって、再生資源としてリサイクルすることができるシステムです。

地元の自治体と連携し、迅速な災害復旧を目指す

気候変動に対応し、地元を強靱に、 住み続けられる街づくりの実現を

近年、日本列島への大規模な自然災害は毎年のように発生しており、その数は増加傾向にあります。そして災害のたびに、大量の混合廃棄物が発生し、被災地の早期復旧・復興を妨げています。その中で、復旧・復興計画や復旧復興・設備の事前準備を行い、災害時に早急に提供できる体制のニーズは「天災に対する転ばぬ先の杖」として必要性が高まっています。俊敏な各地域単位、自治体単位での対応が求められている中、当社は今後起こりうる災害に備え、混合廃棄物の迅速な処理実現を目指し、災害におけるリスク回避に積極的に注力していきます。



災害物混合土砂分別システム「**DIMS**」の特徴

特徴 1

「早い復旧を目指した機動力」 「含水率の高い土砂分離」の必要性

混合廃棄物を効率良く分別し再利用するには、対象物の性状を見極め、異なった能力を持った機械を組み合わせたシステムを導入する事が重要です。東日本大震災復旧・復興時、含水率の高い災害物混合土砂が増える一方で、対応した専用機械の製作期間に1年以上を要していました。DIMSの技術基盤はこの時に作られたものです。異なる能力、異なる種類の機械を組み合わせた選別工程のプラントをコンパクトにし、災害廃棄物処理で最大の問題点である、含水率の高い土砂分離もターゲットに構成されているところが強みです。



特徴 2

混合廃棄物を再生資源としてリサイクル

混合廃棄物から、土砂・可燃物・不燃物・金属片を分別することによって、再生資源としてリサイクルすることができ、SDGsの達成に貢献します。

